

1.「バックウェーブ」試作完成! ★★★

10年来の夢が、ようやく実現した!それは、背骨を波状に揺らすことで『わずか5分で全身を緩めてしまう機械』である。

あお向けに寝てヒザを曲げた状態で、腰を左右に揺らすと、首から腰まで背骨の両側全体が瞬時に緩んでしまう。この効果は、私が10年前に手技経験から見出したものだが、体力的にかなりきついため、機械にしようとして自作した。

腰部には体重の50%がかかるため、かなりのパワーが必要で、結局10万円もする200Vの特大モーターを使って、何とか揺らすことができた。しかし重くて大きい上に、けたたましいモーター音は、とてもリラックスして使えるものではなく、実用には程遠かった。揺らす機構は簡単でも、“小電力で静かに揺らす”のは極めて難しかった。

それから8年経って、㈱ロボメカニクス研究所の協力によって実現し、特許出願できた。

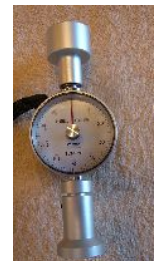


「バックウェーブ」試作機

想定通り、5分で首から腰まで「背骨の両側の筋肉」が緩んで柔らかくなってしまう。

ヒザを曲げて寝れば、ヒザ裏のシコリ（坐骨神経の緊張）まで消失してしまう。低速で揺らすと、副交感神経が優位になり眠くなる。

試しに「筋硬度計」で、肩の硬さを測定してみると、「バックウェーブ」を5分間使用後は、筋硬度が平均して9~10の弛緩が確認でき、最高で17も改善した人もいた。



筋硬度計

「バックウェーブ」使用後に「バックシェイプDX」を行うと、脊柱両側の筋肉が、柔らかくなっているため、腰部を押し上げられる時のきつさが無い。

背骨が緩むことは、単に肩コリや腰痛が緩和するだけでなく、体内にも多くの生理的効果が生じる。背骨が緩むと、背骨の両側にある「交感神経幹」が緩んで、副交感神経が優位になるからである。その結果、血管が拡張して血流が良くなり、血圧や血糖値が下がり、内臓機能や免疫機能が向上する。消化吸収力や解毒・排泄力が高まり、睡眠も深くなる。熟睡すると、脳から心身を修復する成長ホルモンやメラトニンなどといったホルモンが多量に分泌される。つまり背骨の緊張緩和は、あらゆる病変の治癒に有効なのだ。

「小電力で静かに揺らす機構」ができたので、フットケアマシン「レッグシェイプ」も間もなく完成する予定だ。

これらのマシンと短時間の手技を組み合わせることで、『瞬時に心身の緊張を緩める』画期的な施術システムが実現し、早く安く多くの人を施術できるようになる。

『バックウェーブ』5分+『バックシェイプDX&レッグシェイプ』10分+手技5分

=20分/2千円

このシステムによって、9人同時に施術が受けられる整体院を、今秋10月か11月に西新宿で始める計画を現在進めている。

一方、昨年からは中国で安く生産する準備を進めてきた、家庭用「バックシェイプDX」は、生産コストと販売的に不可能なため、量産を取り止める。

小ロット生産で、10万円前後の商品とする方針で検討中。

同じく「バックシェイプM」も、小ロット生産をする方針で検討中。

2. 還元力の源「活性水素」★★★

難病が治る「奇跡の水」として、フランスの「ルルドの泉」が広く知られている。ルルドの泉には、毎日何千人もの人たちが水を汲みに長者の列を作っているという。効果の秘密は、還元力の源泉である『水素』にある。

富士の伏流水から採取された「バナH」はナント！このルルドの水の約150倍もの天然水素が含まれていて、人工的にスティックなどで作った水素と違って、原子状(H)でケイ素と結合しているため揮発しない。

ルルドの水の天然水素量：1ppb

バナH原水の天然水素量：150ppb

7月19日付の読売新聞やヤフーに「水素水を飲むことで、記憶力（認知機能）の低下を抑えられる」ことを、日本医大の太田教授らが動物実験で確認したという記事が出た。太田教授は昨年も、「ガン・脳梗塞・動脈硬化などの要因となる活性酸素の有害作用が、水素によって除去できる」ことを確認したと公表している。あらゆる疾患や老化の原因である「動脈硬化」を改善する作用があるのだ。「応用薬理」や「ネイチャー」などの学術誌には既に、「糖尿病や痛風に効果がある」ことが認められている。

バナHは、バナジウムやケイ素も豊富で、無菌なので備蓄用としても適している。

また、クラスターが非常に小さいため、胃腸に停滞せず、約15分で水が体外に排出されるのも大きな特徴である。

「バナH」は、2ℓ入り12本6,800円（送料・税込）で、メーカーより直送される。欲しい方は、体質研究所へご連絡を。

一方、旅行や出張には「水素カプセル」が便利である。

世界で初めてマイナスイオン型水素保存体を開発したのは、天才物理学者の及川胤昭^{たねあき}博士である。興味のある方は、「水素の可能性」（扶桑社）をお読みになることをお勧めする。

まず簡単に、「酸化と還元理論」を解説しよう。

酸化とは「金属が錆びたり、食品が腐敗したり、身体が老化・病変する」ことであり、すべて活性酸素に「電子を奪われる」ことで酸化する。

酸化した組織を元に戻すことを「還元」といい、還元するには「電子を供給」すればよい。

「マイナスイオン型水素」は、一つの水素原子から2個の電子を与えることができるため、**水素原子の2倍、還元力（抗酸化力）が強い。**

マイナス水素イオンカプセル「毎日水素」は、1カプセル中に400mgの水素が含まれ、「コエンザイムQ10の863倍・ビタミンEの431倍・ポリフェノールの221倍・ビタミンCの176倍の還元力」を有し、その働きは長時間持続する。

水道水に「毎日水素」を溶かして還元電位を測定すると、数日間も還元力が持続される。関連資料によると、クリップを「水道水」と「毎日水素を溶かした水道水」とに入れて8ヶ月経過したところ、水道水に入れたクリップは錆びて水が赤く濁ったのに対して、「毎日水素を溶かした水」のクリップは全く錆びていない。

「毎日水素」は、体内に入るとただちに活性酸素を除去し、同時に酸化した組織に電子を供給して修復を促す。つまり、生体にとって**理想的で最強の抗酸化物質**として働く。

またマイナス水素イオンは、ミトコンドリアで働いて細胞の活動エネルギーである **ATPの産生を高める**。これによって代謝が活性化して、体力が高まり、糖尿病や高脂血症などといった糖・脂肪代謝障害が改善される。

今までは「一度病変や老化したら元に戻る（治る）ことはないから、薬で症状を抑えるしかない」というのが医学常識であったが、水素によって病変・老化した組織が元に戻る可能性が立証されている。水素が、今後の医療のキーワードになることは間違いないだろう。

「**毎日水素**」400 mg×90 粒は**¥16,000（税込）**で、体質研究所で販売中。

3.「ゆらぎ堂」症例★★★

千葉県木更津市の治療院「ゆらぎ堂」から送られた、症例レポートを紹介しよう。

40代男性。職業は、工場での機械の整備。重い物を持ち上げる作業が多い。

主訴は、「腰痛・手根管症候群・うつ病」。

腰痛は20年前からあり、2週間前に旅行に行った際に、長時間歩いたところ、痛みがひどくなり、夜痛くて目が覚めてしまう。

2年前から左の肘から中指・薬指に痺れて、1年前に手術したが、手術後も痺れが取れず、医師には「痺れが取れるまで、1年位はかかるよ」と言われた。先月で1年経過。

本来活動的で明るい性格であったが、3年前にうつ病と診断された。ここ1月半ほどうつ症状がひどく、腰の痛みも悪化し会社を休んでいる。やる気が出ない。家に閉じ籠っている。

動作チェックでは、胸郭の下垂がひどく、腕の内捻れも強い。腕が真上に上がらない。

両脚のふくらはぎ・大腿の外側がパンパンに張っている。背屈・前屈・側屈・回旋で、痛みが左右のL4付近から臀部にかけて出る。

開節法で施術したところ、1回で、側屈・回旋での痛みは消えて、背屈・前屈も、少し痛みが出るだけとなった。

1週間後に再診すると、背屈・側屈時に右の仙腸関節辺りが少し痛むだけになっていた。左手の痺れは、完全になくなっていて、大腸経の手技ができないほど腕が硬かったのに、一度の施術で、2年間も続いた手の痺れが消えてしまったことにビックリした。

その日は、開節法と「バックシェイプDX」を行い、さらに楽になった。

向後 雅通

4. お知らせ★★★

(1) **ボケたくない人必読! 『秘伝』9月号 (BAB ジャパン) に“脳トレ”特集**

前頭連合野と小脳を効果的に鍛えるトレーニング法として、「お手玉」を紹介。

その他にも、『ボケを防ぐための秘訣』が満載。

(2) 『膝痛解消! 神の手を持つ13人』現代書林から出版!

「ヒザ痛のメカニズム」を分かりやすくチャート化し、オイルマッサージと開節法と合気ウォーキングによって治癒に導く原理を発表した。

ヒザだけでなく、腰痛も五十肩もリウマチ性関節炎も、根本的にはすべて同じ「血流不全」によって起こる。要は、「何が原因で血流が悪くなっているのか」をまず知ることだ。これを読めば、あなたの原因解決への糸口が見つかるだろう。

(3) 『臨床看護』8月号に、開節法の記事掲載!

看護婦向けの医療雑誌「臨床看護」8月号に、「開節法」の記事が掲載された。

西洋医学が「病気を退治する医学」であるのに対して、開節法は「細胞の元気度を高める医学」といえる。

細胞の元気度を知るのに、体温検診や心拍数・血圧の測定などはあまり意味がない。それよりも腋下温より足首の温度を診るべきで、さらに腹診と脊柱の後弯度を診るべきである。その根拠を詳述。

(4)10月11日～3回『合気ウォーキング教室』大阪教室

前回大好評だった吉田淳香講師の大阪教室を、また秋に開催。

5月からの大阪教室の感想をホームページに掲載しているので、ぜひご覧いただきたい。

日時：10月11日・25日・11月8日（土）14:00～16:00

場所：東淀川人権文化センター5F講堂（JR「新大阪駅」東口・北側より徒歩5分）

講師：吉田淳香（清風ヒーリング整体院・松原整体塾2期卒業生）

受講料：全3回18,000円

問合せ・申込み：次のホームページより <http://aikiwalk.com>

または、体質研究所へ FAX：042-670-0089

(5) 10月25日(土)『コアマッスル・セミナー』in 朝日カルチャーセンター

腰痛・ヒザ痛・O脚・肩コリなどに悩んでいる方、必須のセミナー。

合気ウォーキングで、コアマッスルを日常生活の中で自然に鍛える方法を指導。

知るだけで肩コリが激減する「手の使い方」も、併せて指導。

日時：10月25日(土) 13:30～17:30

場所：朝日カルチャーセンター・新宿（新宿西口から徒歩5分）

講師：松原秀樹

問合せ・申込み：朝日カルチャーセンター生活芸術科 TEL：03-3344-1947

(6) 11月22日(土)『賢い人は早く治る!』in 朝日カルチャーセンター

病気を治すために、最低限必要な知識をレクチャーする。

具合の悪い人は、「身体に悪い生活」をしている。その生活を変えないで、症状だけをなくそうとしても無理なのだ。身体を本当に良くしたければ、「何が身体に悪いのか」をまず知ることが先決である。このセミナーを受ければ、身体観や医療観が変わるだろう。

日時：11月22日（土）14:00～16:00

場所：朝日カルチャーセンター・新宿（新宿西口から徒歩5分）

講師：松原秀樹

問合せ・申込み：朝日カルチャーセンター生活芸術科 TEL：03-3344-1947

(7) 今秋『新・開節法フットケア』知道出版から出版予定!

「開節法フットケア」がこの秋、大幅に内容を修正・更新して再出版される予定。

体質研ニュースは、3ヶ月毎に発行しています。次回は10月発行の予定。